

問1 室町時代、足利義満が明との間で始めた貿易では、当時「倭寇」と呼ばれた海賊による私貿易船と、幕府が認めた正式な貿易船を区別する必要がありました。このとき、二枚に分割された合札を照合することで、正式な船であることを証明した道具を何とといいますか。 (2017年 大阪公立入試 類似)

1. 勘合（勘合符） 2. 朱印状 3. 割印 4. 手形

問2 後醍醐天皇のもとで、楠木正成らが幕府軍と戦い勝利したことで実現した「建武の新政」が、わずか2年余りで失敗に終わった主な理由として正しいものはどれか、次の中から選びなさい。 (2023年 香川公立入試 類似)

1. キリスト教の布教を認めたことで、仏教勢力からの激しい反発を受けたため 2. 恩賞が不公平で公家が優遇されるなど、武士の不満が高まったため 3. 元（モンゴル帝国）が再び日本に侵攻し、政治が機能しなくなったため 4. 参勤交代の制度を導入したことで、諸大名の経済力が低下したため

問3 室町幕府と禅宗の関係について、当時の政治や文化に与えた影響を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2024年 福井公立入試 類似)

1. 幕府は禅宗の僧侶が持つ高い教養を評価し、外交の顧問として重用したり、大陸の文化を取り入れたりした。 2. 幕府は天台宗を国教に近い存在として保護し、比叡山延暦寺の軍事力を利用して地方の守護大名を統制した。 3. 幕府は真言宗の僧侶による加持祈禱を重視し、干ばつや飢饉の際に行う大規模な儀式を政治の柱に据えた。 4. 幕府は特定の宗派と結びつくことを避け、どの仏教勢力とも一定の距離を保つことで中立的な立場から民衆を支配した。

問4 室町時代、近畿地方を中心に農民たちが自衛や用水の管理などを目的として結成した、自治的な村組織を何と呼びますか。 (2025年 群馬公立入試 類似)

1. 惣村 2. 座 3. 問丸 4. 株仲間

問5 室町時代に農民たちが借金の帳消しを求めて起こした「土一揆」において、酒屋や土倉が襲撃の対象となった理由と、その際に行われた具体的な行動として正しいものはどれか。 (2026年 長野公立入試 類似)

1. 高利貸しへの不満から、借金の証文を破り捨てるなどして借金の無効化を狙った 2. 特権的な商工業者による独占に反対し、自由な商売ができるよう訴えた 3. 幕府の役人と癒着していたことに抗議し、新たな村の掟を認めるよう要求した 4. 年貢の取り立てを厳しくした代官を追放するため、武器を奪い取ろうとした

問6 室町幕府の三代将軍である足利義満が、明との間で始めた貿易において、当時、東シナ海などで略奪行為を行っていた海賊（倭寇）と、幕府が認めた正式な貿易船を厳格に区別するために用いられた符札の名称を答えなさい。 (2019年 和歌山公立入試 類似)

1. 勘合 2. 朱印状 3. 御教書 4. 割符

問7 室町幕府の政治体制において、足利氏の一門である有力な守護大名が任命され、将軍に次ぐ立場として幕府の政務を統括した最高職を何とといいますか。 (2019年 山口公立入試 類似)

1. 管領 2. 執権 3. 老中 4. 摂政

問8 室町時代に行われた日明貿易において、一組の紙を半分に切り、一方は幕府が、もう一方は明が保管するという仕組みが採用された理由として、最も適切な説明はどれか。 (2019年 和歌山公立入試 類似)

1. 東シナ海などで活動する海賊（倭寇）と、幕府が公認した正式な貿易船を識別するため 2. キリスト教の布教を目的とする宣教師が、貿易船に紛れて入国するのを防ぐため 3. 博多や堺の商人が幕府の許可なく独自に明と取引を行うことを禁止するため 4. 明から輸入される銅銭の量を制限し、国内の物価が変動するのを抑えるため

問9 1467年に足利将軍家のあとつぎ問題や、幕府の要職である管領の家督争いをきっかけとして京都で始まり、その後11年間にわたって全国に広がった大規模な内乱を何とといいますか。 (2023年 福島県公立入試 類似)

1. 応仁の乱 2. 観応の擾乱 3. 島原の乱 4. 承久の乱

答え合わせ・解説

問1	答え 1 勘合（勘合符）	足利義満は明の皇帝からの要求を受け、倭寇を鎮めることを条件に日明貿易を開始しました。この貿易では、あらかじめ日本側と明側で半分に分けた「勘合」という紙を所持し、港でそれらを突き合わせて一致するかを確認する仕組みが導入されました。これにより、幕府の許可を得ていない倭寇による密貿易を排除しました。
問2	答え 2 恩賞が不公平で公家が優遇されるなど、武士の不満が高まったため	後醍醐天皇は公家を重用し、命をかけて戦った武士たちへの恩賞（土地など）が不十分であったり、土地の所有権を巡る裁判が混乱したりしました。このため、武士たちは急速に新政から離れ、足利尊氏を支持するようになっていきました。
問3	答え 1 幕府は禅宗の僧侶が持つ高い教養を評価し、外交の顧問として重用したり、大陸の文化を取り入れたりした。	足利義満をはじめとする室町幕府の将軍たちは、禅宗を厚く保護しました。禅宗の僧侶は中国（明）の文化や制度に詳しく、漢文の知識も豊富だったため、幕府の政治顧問や外交実務を担うようになりました。また、この結びつきによって、水墨画や茶の湯などの「五山文化」が栄える背景となりました。
問4	答え 1 惣村	室町時代になると、農民が団結して自立的に運営を行う「惣村」が形成されました。惣村では、村の神社などで「寄合」と呼ばれる会議を開き、入会地の管理や用水の配分、年貢の納入交渉などを共同で行いました。こうした自治の広がりは、当時の農民が社会的地位を高めていたことを示しています。
問5	答え 1 高利貸しへの不満から、借金の証文を破り捨てるなどして借金の無効化を狙った	生活に困窮した農民たちは、団結して「徳政（借金の帳消し）」を求める土一揆を起こしました。彼らは高利貸しを行っていた酒屋や土倉を襲い、物理的に借金の証文をなくすために借金の証文を破棄したり、質入れしていた品物を取り返したりしました。
問6	答え 1 勘合	足利義満は明の皇帝から日本国王として認められ、日明貿易を開始しました。当時、沿岸部を荒らす倭寇の存在が国際問題となっており、明側からその取り締まりを強く求められていました。そこで、中央に「本」という文字などが書かれた紙を左右半分に切り、日本側と明側でそれぞれ保管し、入港時にそれらを照合することで、正式な貿易船であることを証明する仕組みが導入されました。
問7	答え 1 管領	室町幕府において将軍を補佐する最高職であり、細川・斯波・畠山の三氏が交代で就任したことから「三管領」とも呼ばれます。鎌倉幕府の執権、江戸幕府の老中に相当する役職ですが、有力な守護大名がその職に就き、幕政を左右した点が室町幕府の大きな特徴です。
問8	答え 1 東シナ海などで活動する海賊（倭寇）と、幕府が公認した正式な貿易船を識別するため	日明貿易は、別名「勘合貿易」とも呼ばれます。文字の書かれた紙を半分に分けるという方法は、偽造が困難な証明書としての役割を果たしました。これにより、明の沿岸を襲っていた倭寇を排除しつつ、幕府が独占的に利益を得られる正式な外交ルートを確認することが目的でした。他の選択肢にあるキリスト教の制限は後の江戸時代の政策であり、銅銭の輸入制限はこの貿易の主目的ではありません。
問9	答え 1 応仁の乱	8代将軍足利義政のあとつぎ争いに、有力な守護大名である細川氏と山名氏の対立が結びつき、京都を主な戦場として始まりました。この戦乱により幕府の力は衰え、実力のある者が上の者を倒す「下剋上」の風潮が広まり、戦国時代へと突入する契機となりました。